



里山たより

2020年1月 第233号

発行：里山クラブ可児

代表 大鹿 広光

編集、校正：里山クラブ可児

広報 大見 昭敏



新年明けましておめでとうございます。

昨年中も里山活動では、参加会員の活動中の大きな事故や怪我もなく無事にまた一つご褒美の歳を重ねる事が出来ました。

まずは何よりとお喜びいたしますと共に本年度も里山活動を明るく元気に楽しくやりましょう。

1、活動報告

12/4 (水プロ) 参加会員：11名

寒い朝でしたが11名の会員が参加してくれました。

田んぼビオトープ作業も一段落の今日は、上部駐車場に張り出したアベマキの木の根元に洞が出来ていつ駐車場側に倒れ込むかもしれない危険を予測して伐倒することにしました。

伐倒の際に周りの紅葉や桜の木に被害が及ばない様に今日も丸山会員の的確な指導、指示の下で無事に作業を終える事が出来ました。



12/11 (水プロ) 参加会員：12名

今日も元気に12名の会員が参加してくれました。

今年の田んぼビオトープでのもち米とうるち米の収穫量がイマイチだったので例年行っている有機肥料(牛糞、鶏糞)散布を若干増やして田んぼに蒔くことにしました。

午後からは、先日上部駐車場の伐倒木をチップパーで枝葉を細断し玉切りした薪用部分は夢工房に運び上げて早速の薪割りを行いました。

<<トピックス>>

里山クラブのホームページに見学希望の申し込みが有り本日体験の為に参加してくれました。年齢26歳、瑞浪在住、チェーンソーも扱える有望人材です。是非入会してほしいものです。



12/15（例会、納会+講座：自然学校（3）） 参加会員：25名+こどもの庭会員：4名

朝は結構冷え込んだ中で自然学校の餅つき体験が行われ会員希望の体験者を含めて29名の会員が参加してくれました。

広報募集の親子28名、S. D. L参加者8名、ケーブルテレビ関係者2名の総勢67名で賑やかに始まりました。例年と同じ8臼の餅をつき参加者は早速にアンコやきな粉、大根おろしで美味しそうにほおぼっていました。その後冬瓜や大根菜の雑煮も振舞われて皆さんお腹いっぱい満足な様子でした。



12/18（水プロ） 参加会員：8名

納会後の朝からの雨にもかかわらず今日も元気に8名の会員が参加してくれました。

あいにくの雨の中でしたが来年秋から本格的に始まる送電線の工事について中部電力職員4名と地元地権者3名と本日参加の里山クラブのメンバーとで工事概要の実地説明と検分をしました。

午後からは、雨も上がり薪の配達や新たな薪割りに精を出し本年の活動を終え来年は、1月8日の水曜日を活動開始日と挨拶して終わることにしました。

12/22（日） 参加会員：1名

先月我田の森で行われた名城大学都市情報学部のフィールドワークに参加できなかった

7名の学生が我田の森を訪れフィールドワークを実施することになり大鹿代表にアテンドをして頂きました。

2、12月度の我田の森への入山人数

1、里山クラブ可児会員	61人（累積：783人）
2、自然育児こどもの庭（親と幼児）	164人（累積：1471人）
3、講座（自然学校、CTK）	30人（累積：135人）
4、行事	0人（累積：184人）
5、外部団体（S. D. L、名城大学、中部電力）	19人（累積：135人）
6、協力団体（岐阜森林愛護隊）	0人（累積：23人）

令和元年度の累積入山人数：2731人

3、活動予定

例会：1/19、26の日曜日

遊歩道の整備（枯れ木伐倒、倒木除去、草刈り）や椎茸原木の採取を予定しています。

水プロ：1/8、15、22、29の水曜日

水路や棚田の保全と作業路の保全整備作業や有機肥料の施肥が予定しています。

講座、行事：特に予定されていません。